

## 夏の終わり？秋の始まり？～2学期の過ごし方を考える～

校長 竹中 朝崇

「暑い夏でした。」と言いたいところですが、「まだ夏は続きます。」と表現した方が良いかもしれません。夜も更けると秋の虫の鳴き声が聞こえてきますが、本当に涼しくなるのはまだ先のようなので。いつになれば秋が来るのでしょうか。引き続き、熱中症予防に努め、健康管理をしっかりとしましょう。特に高校3年生は大切なテストを控えています。万全な体調の中でテストに臨みたいものです。

2学期がスタートしました。始まりから台風が接近・日本列島に上陸ということで自然の怖さを実感しています。夏休み中には運用後初の「南海トラフ地震臨時情報」の発表があり、改めて防災に対する意識を日ごろから持たなければいけないと痛感しているところです。学校は安全を優先した取り組みをしまりますが、一方で全てに対応できると言い切れません。災害が発生した時の備えとして避難場所の確認や緊急連絡先など、今一度ご家庭において話し合いをしていただきたいと思います。「備えあれば、憂いなし」ということです。

ところで、自らの生き方に関わる将来の進路の選択や学校生活の中心となる行事等の実施など、2学期は1年間で最も大切な学期となります。2学期始業式の訓話の中で、目標をつくるのが大切な理由、そして小さなゴール(=目標)をつくり、大きなゴールを達成しようとは生徒の皆さんに呼びかけています。学校生活と結びつきながら日常の授業や体験を通じて学び良い習慣を身につけて欲しいものです。そうすると次にその目標を達成するためにどのような取組をするべきか考える必要があります。いわゆるPDCAサイクルを意識した取組となるようにしたいところです。もう一つは「見える化」すること。自らの取組がはっきりと見えるようにすることで自分の行動を客観的に見て反省し改善につなげていくことが大切です。そのための工夫をしましょう。例えば、定期試験前に学習計画を立てる際に計画表を作成していますか。また数値目標を設定するとともに文字化して取組方法について記していませんか。その他にも部活動における目標をつくる際、目標を達成する方法を記すことをしていませんか。これらの小さな積み重ねがゴールを達成し、大きな目標達成につながっていくことになります。

高校3年生の皆さんにとっては、高校卒業後の進路について具体的に決定していく重要な時期に入ってきました。時間はあまり無いように感じるとは思いますが、もう一度、自分自身を客観的に見る目をもって、過小に評価するまたは過大に評価することなく冷静に行動するように心がけてください。何をするにしても学ぶことは大切なことです。次のステージに向かう上で必要な知識を確実に得て、テストにおいて十分発揮できるように準備を進めていきましょう。夢や目標を実現するには自ら学びつかむことです。学校では先生方が、各ご家庭ではご家族の方が皆さんの支えとなるでしょう。つながりを大切にして頑張ろう。